

## LPガスCP速報(2024年8月積)

### 1. 8月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン **590** <sup>ドル</sup> (前月比+10<sup>ドル</sup>)  
ブタン **570** <sup>ドル</sup> (前月比+ 5<sup>ドル</sup>)

#### ① LPガススポット市況等

LPガス市場をみると、中東市場は、猛暑に見舞われ電力需要も増加したサウジからの出荷は絞られ、インドの需要増にターム契約優先でスポット販売は限定的、米国玉の積出遅延でタイト感が強まった。中国石化需要がマージン改善で増加、PDHの稼働率も上昇し、LPG需要を下支えした。LPガス市況は、FOB市況が原油市況に連れ高、フレート軟化でCFR販売が選好され、極東CFR市況は、第1週にプロパン660<sup>ドル</sup>、ブタン650<sup>ドル</sup>に上昇したが、原油市況が軟化した、第4週にプロパン650<sup>ドル</sup>、ブタン630<sup>ドル</sup>に下げている。

米国市場は、プロパン供給、在庫が増加、在庫水準は5年平均レンジ内に収まっているが、最上部に張り付いている(グラフ②参照)。輸出は過去最高水準から減少(グラフ③参照)。ハリケーン「ベリル」の影響、曳航船転覆によるヒューストン航路が一時閉鎖されるなど積み出しが遅延、供給がタイト化した。このためモンベルビュープロパンスポット価格は一時440<sup>ドル</sup>まで上昇したが、原油が急落した第5週には400<sup>ドル</sup>まで軟化、月間平均で前月比25<sup>ドル</sup>上昇の420<sup>ドル</sup>/ト<sup>ン</sup>どころ(グラフ①参照)となった。

フレート市況は軟化、第3週で中東～極東50<sup>ドル</sup>、米国～極東市場は90<sup>ドル</sup>どころで推移した。パナマ運河ガツン湖の水位が回復、通峡枠も増加し、フレート市況を押し下げた。ハリケーン等によるトラブルもあり米国輸出が減少、FOBプレミアムが上昇し、米国スポット傭船需要は低迷。中東市場は、インドの傭船需要が下支えも、さえない需要にタイト感はない。

ナフサ市況は上昇、月間平均は前月比19<sup>ドル</sup>上昇の701<sup>ドル</sup>どころ。原油市況の上昇と石化需要の増加で上旬には725<sup>ドル</sup>まで上昇したが、下旬には原油に連れ安700割れ、30日には660<sup>ドル</sup>まで軟化した。ナフサ高でアジアの石化はブタン付カーゴを手当てしている。

バンカーオイルをみると、シンガポールIFO380はほぼ変わらず、月間平均で前月比2<sup>ドル</sup>上昇の522<sup>ドル</sup>どころ、LSMGO(低硫黄マリンガスオイル)は反騰、前月比16<sup>ドル</sup>上昇の747<sup>ドル</sup>どころ、ガスオイルとC重油との格差は225<sup>ドル</sup>で拡大した。

8月CPは前年同月比プロパン120<sup>ドル</sup>、ブタン110<sup>ドル</sup>のそれぞれ上昇。原油(アラビアン・ライト)熱量等価換算(下記参照)では、前月に比べプロパン0.5ポイント上昇、ブタン横這い、前年同月比ではプロパン15、ブタン13ポイント高い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート(中東-日本)	60	60	50	50	55
CP先物指標:P	590	590	580	585	586
CP先物指標:B	575	575	565	575	573

#### ② 原油市況等

7月の原油市況は、80～82<sup>ドル</sup>のレンジ相場を離れ83<sup>ドル</sup>台でスタートした。金融市場は、インフレ鈍化、年内利下げ観測が強まり、株価(S&P500)は最高値を連日更新、リスクオンの状態となった。石油需給面では、米国がドライブシーズンピークを迎え、ガソリン需要は増加、原油在庫も減少したが、中国経済の低迷から市況下押し要因となった。一方、地政学リスクを巡る状況は変わらず、イスラエルのガザ地区攻撃は続き、テヘランでハマス最高指導者が殺害されるなど緊張が高まっている。一方、原油先物市場は、プロンプトスプレッド(期近2限月)の逆ざやは再び拡大、WTIは1<sup>ドル</sup>を突破し需給タイトを示唆している。猛暑、ハリケーンなど気候変動が激化し新たなリスクとなるなか、今週開催のOPECプラス会合、世界の政治・経済動向の行方に注目が集まっている。

○7月積みアラビアン・ライト(7月1～30日までの想定)は86.20<sup>ドル</sup>(前月比+0.77<sup>ドル</sup>)

熱量等価AL100% プロパン706.75<sup>ドル</sup>/ト<sup>ン</sup> ブタン697.06<sup>ドル</sup>/ト<sup>ン</sup>

AL比 プロパン83.48% ブタン81.77%

\*上記ALはE I N推計、確定値は後日Webサイトでご確認ください。

## 2. 2024年8月LPガス仕切（CP・MBコスト変動分）への影響

適用為替	T T S	P円建CFR	B円建CFR	P前月比	B前月比
7月月間	159.16	100,800	100,000	+1,700	+300

\* T T S 平均等について、各社の適用為替レートが昨年4月仕切改定から月間平均に統一された。

上記は7月1～31日までのT T S 平均。C Pは前月・当月50%案分。プロパンのMB合成比率はC P 70%、MB 30%で算定。C F R コストは中東・北米フレートを含むC F R コストを表示。C F R コストには北米の基地経費等も含まれ、各社で異なる。

なお、上記MBは7月29日までの価格を基にE I Nで試算（420ドル/トン）したもので、メーカー各社の最終確定値とは異なる。また、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定やフォーミュラ見直しもなされるため、仕切等の詳細はW e bサイトを参照。

### ① 米国プロパンスポット価格推移

Mont Belvieu, TX Propane Spot Price FOB

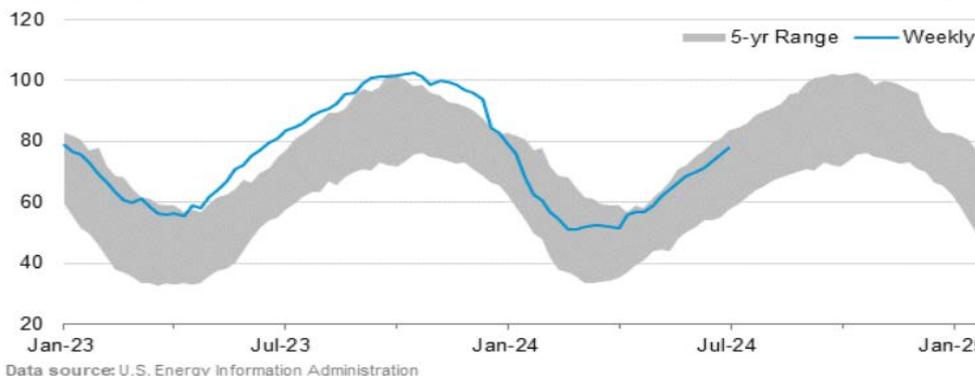
DOWNLOAD



### ② 全米プロパン在庫推移

U.S. propane/propylene stocks  
million barrels

eia



### ③ 米プロパン輸出货量推移

4-Week Avg U.S. Exports of Propane and Propylene

DOWNLOAD



出典：EIA